

中島遺跡 宮南遺跡 国長遺跡 天神河原遺跡

～都市計画道路竹田升田線街路改築に伴う発掘調査～

定価 4,000円

中島遺跡 鎌倉時代は、ほぼ全域で濃密な以降が確認され、国内外産陶磁器の出土が注目される。

戦国時代は、有力土豪である中島氏の居館跡を確認した。この中島城は、一辺50m四方の堀で囲まれた平地居館であることが判明した。

宮南遺跡 河道に挟まれた約200mの微高地上で、鎌倉時代から室町時代にかけての集落が形成される。土壙からは14～15世紀と考えられる一括土器が出土した。

国長遺跡 東西の河道に挟まれた微高地上に営まれた鎌倉時代の集落。規則的な並びを見せる16棟の建物と井戸や墓を検出した。

天神河原遺跡 東側に推定される備前国府域に近接する遺跡で、古代と中世の集落を確認。国府関連と考えられる銅製帯金具の丸軛・巡方・鉞尾や陶硯などが出土し、注目される。



中島遺跡出土 輸入陶磁器

中島城全景（空撮：上が南）



天神河原遺跡出土 銅製帯金具